

インプラントカード 使用マニュアル Ver1.00

【事前準備】

1. インプラントカード用ファイルを PC にコピーしてください。
2. ファイルをエクセルで開いてください。4つのシートがあります。



- ・表：カードの表面印刷用です。これに患者基本情報を入力します。
- ・裏：カードの裏面印刷用です。これにインプラントのデータを入力します。
- ・DATA：データベース化するためのシートです。ここは編集しません。
- ・顎口腔インプラント学会用：国際インプラント手帳を印刷する際に使用します。

3. シート「表」を表示します。歯科医院基本情報を入力します（赤枠部分）。

歯式の図には印刷後、手書き	↑ 自院の情報を入れたQRコードに入れ替えて下さい
パノラマ写真は貼り付けて下さい（必須では無い）	自院の住所、URL等はあらかじめ書き換えて下さい
黄色の枠は余白です。中の白地の部分が印刷されます。	患者氏名・番号・日付を入力してください（灰色網掛部分）

担当医が1名なら、その氏名を記入します。

各項目が長くて表示しきれないときは、フォントサイズを小さくします。

4. 歯科医院の QR コードを貼り付けます。（必須では無い）
QR コード作成用のフリーソフト・フリーサービスがあります。「QR コード フリー」で検索
QR コードを使用しない場合は、カードの QR コードを選択して、削除して下さい。
5. 歯式の下にある図とパントモ写真を選択し、削除して下さい。これは見本です。
6. シート「裏」を表示します。

7. 下の方にインプラントメーカーとインプラント名のリストがあります。
 これをご自分がよく使うものに絞って詳細に記載しておく、あとの入力楽です。

インプラントメーカー	インプラント名		インプラントメーカー	インプラント名
ADVANCE	ANKYLOS	編集例 ➔	NOBEL BIOCAR	NobelDirect
ALTATEC GmbH	AGB		STRAUMANN	NobelActive
BICON	ASTRA TECH		GC	NobelSPEEDY
BIOHORIZONS	BICON			Mk III
BIOMET	BRÅ NEMARK			Mk III Groovy
BRAINBASE	CAMLOG			Mk IV
DENTSPLYIH	ENDPORE			Mk IV Groovy
GC	GENESIO			
ISIFUKU	IAT			Standard
KENTEC	MAESTORO			Standard+
KYOCERA	MYTIS ARROW			TaperedEffect
LIFE CORE	NobelDirect			BoneLevel
NOBEL BIOCAR	Nobel Active			
OSSTEM	NOBEL SPEEDY			GENESIO+
PLATON JAPAN	OSSEOTITE			GenesisFixture
STRAUMANN	POI			
THOMMEN	RESTORE			
ZIMMER DENTAL	REPLACE			
OTHERS	SCREW-VENT			
	SPI			
	SPLINE			
	STRAUMANN			
	SURGON			
	SWISS-PLUS			
	XIVE			
	3I			
	α-TITE			
	μ-ONE			
	OTHERS			

枠内に記入して下さい。基本的に英語表記です。余り長いと、小さい字になります。

8. ファイルを上書き保存して下さい。これが今後の雛形の元となります。
9. 別名で保存します。これを通常使う雛形とします。
 「インプラントカード入力用.xls」とでもしてください。

【患者データ入力】

1. カルテとパントモ写真の画像ファイル（必須では無い）を準備しておきます。
2. 雛形のファイルを開きます。
3. シート「表」を表示します。患者基本情報を入力します（赤枠部分）。

歯式の図には印刷後、手書き
パノラマ写真は貼り付けて下さい
黄色の枠は余白です。中の白地の部分が印刷されます。

自院の情報を入れたQRコードに入れ替えて下さい
自院の住所、URL等はあらかじめ書き換えて下さい
患者氏名・番号・日付を入力してください(灰色網掛部分)

「No.」は各歯科医院独自の番号です。

「日付」はカードの発行日です。

4. 担当医が複数いる場合は、担当医名を変更して下さい。
5. 歯式の下にパントモ写真を挿入・貼り付けして下さい。必須ではありません。歯の部分だけをトリミングしておくとも良いです。
「図ツール」→「書式」→「トリミング」を行って下さい。
6. 慣れている方は、「挿入」→「図形」で歯式に書き込みを行うこともできます。通常は印刷後に手書きもできます。
7. シート「裏」を表示します。インプラント情報を入力します（赤枠部分）。

No	部位	埋入	装着日	直径/長さ	メーカー名	インプラント	ドライバ	コード	その他
Ex	Position	Surgery	Final	φ/L	Company	Implant	Driver	Code	Others
1	36	2012/9/18	2012/9/18	4.0/11	NOBEL BIOCAR	Nobel Active	Starcorp	K10426011	Si,TC,B
2					NOBEL BIOCAR				
3					OSSTEM				
4					PLATON JAPAN				
5					STRAUMANN				
6					THOMMEN				
7					ZIMMER DENTAL				
8					OTHERS				
9									
10									

I:インプラント Implant, N:天然歯 Natural Tooth, M:欠損 Missing, C:連結 Connected, Si:単独 Single
Sc:スクリュー固定 screw, FC:セメント固定 Final Cement, TC:仮着 Temporary Cement, RD:可撤義歯 Removable Denture
RB:可撤ブリッジ Removable Bridge Au:骨造成 Augmentation, M:人工材料 Material, B:自家骨 Bone Graft

・部位 17 16 15 14 13 12 11|21 22 23 24 25 26 27

47 46 45 44 43 42 41|31 32 33 34 35 36 37 という記載方法です。半角です。

- ・埋入：埋入手術日です。2012/1/30 という形式で半角で入力します。
- ・装着日：上部構造装着日です。
- ・直径／長さ：mm 単位で記載します。
- ・メーカー名：セルの右の小さい▼をクリックすると、リストが出てきますので選びます。リストにない場合は、直接入力も可能です。
この時は、【事前準備】の7で示した方法で、リストに加えておくとも良いでしょう。
- ・インプラント：種類をリストから選びます。リストにない場合は、直接入力も可能です。
- ・ドライバー：上部構造締結に使用したドライバーを記載します。
セメント合着式の場合は、アバットメントスクルー用のドライバーを記載しても良いです。
- ・コード：インプラント体の商品番号（LOT 番号）をシールから転記します。（右図）



- ・その他：コメントがあれば、下の略号を使用して記入します。
「,」で区切ります。

※インプラント 1 本につき 1 行を使います。

11 本以上の時は、上顎と下顎で 1 枚ずつのカードをつくと良いでしょう。

※記載方法はご自分でルールを決めておかれると良いでしょう。

8. ファイルを「名前を付けて保存」します。患者名や患者番号をファイル名にすると良いでしょう。決して上書き保存しないで下さい。雛形が変更されます。

【日本顎顔面インプラント学会編の国際インプラント手帳の使用法】

シート「顎顔面インプラント学会用」の灰色バックの所には、自動的にデータが入力されています。追加のデータは入力して下さい。

このフォーマットの使用に関しては、公益社団法人日本顎顔面インプラント学会および、公益財団法人国際口腔医療財団のご了解を頂いています。

使用法の詳細は、国際インプラント手帳 HP を参照して下さい。 <http://www.mfimp.com/>

【データの互換性】

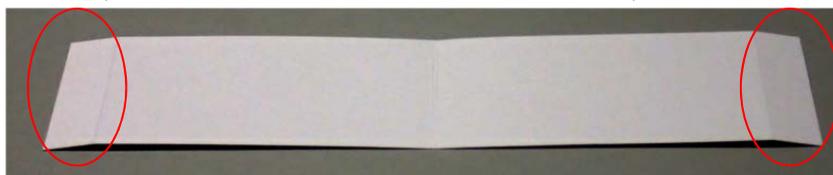
国際インプラント手帳とデータの互換性を考慮して、「DATA」というシートを作っております。入力したデータは、このシートに自動的にコピーされます。将来的に、両者が統合されたときも、データが活用できるように考えてあります。

【カード印刷】

1. カード用紙を準備します。名刺サイズ横二つ折りです。
A-One マルチカード 白無地 名刺5面二つ折りタイプ 51077
がお勧めです。10シート(50枚)で540円です。ネットで注文可。

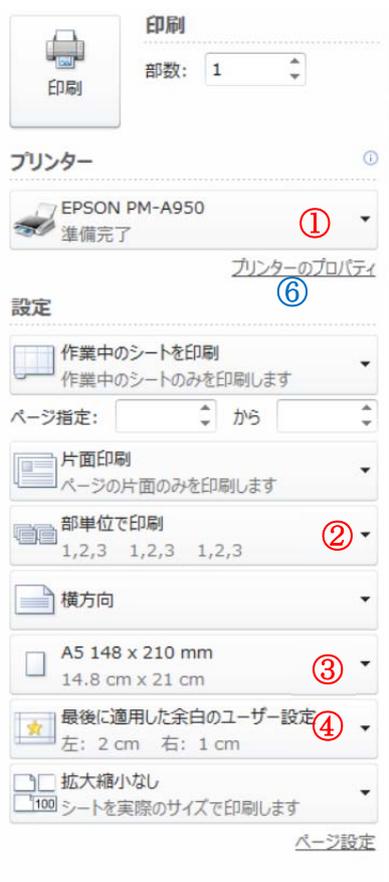


2. カードをあらかじめ、切り取り線にそって切っておきます。
このとき、左右の1cm ぐらいの縁(赤丸)は、切らないでおくことが重要です。



3. プリンタを準備します。インクジェットプリンタがお勧めです。
レーザープリンタではカードサイズの紙が使用できないことが多いです。
エプソンの PM-A950 を例で、設定を説明します。(キャノン系の設定は後述)

4. シート「表」を表示します。「ファイル」→「印刷」→「設定」でプリンタを選びます①。
(あらかじめ、以下のような設定がされています)



- 横方向にします②。
- サイズを A5 にします③。
- 余白を、上 0, 下 1.5, 左 2, 右 1 にします④。
- 下図のようなプレビューが見えるはず⑤。



5. 「プリンターのプロパティ」を設定します⑥。「用紙設定」のタブを選びます。

6. 「印刷方向：縦，180° 回転」にします⑦。
必ず毎回必要です。

7. あらかじめ切ってあったカード（縁付き）を
プリントの用紙トレーの右端にセットします。



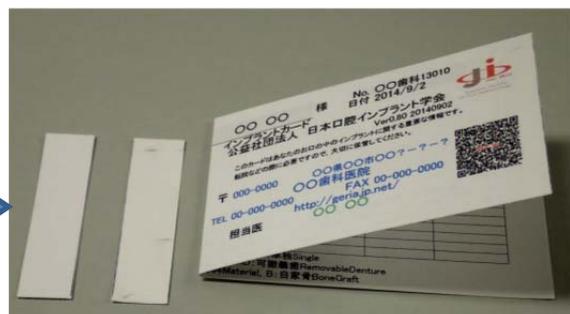
表が印刷面です。「印刷したいカードの左下」を「左上」にして入れます。

8. 印刷を実行します。

9. シート「裏」を表示します。

10. 以下，同様に裏面を印刷します。
裏面が見えるようにして，左下を左上にして入れます。

11. 左右の縁を切り取って，完成したカードです。



12. 必要に応じて，歯式部分に手書きを行います。
（【患者データ入力】の6のようにPC入力も可能）

※印刷時のプリンタの設定は，機種により異なります。
ある程度の試行錯誤は必要です。

【キャノン系プリンタの設定】

Pixus iP110 を例に説明します。(コンパクトなモバイルプリンタです)

4. シート「表」を表示します。「ファイル」→「印刷」→「設定」でプリンタを選びます①。

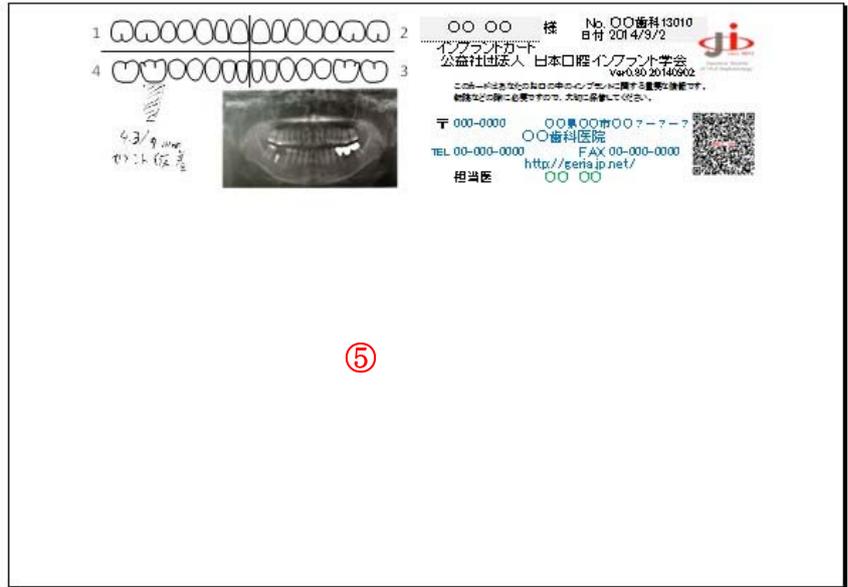
(あらかじめ、以下のような設定がされています)

横方向にします②。

サイズを A5 にします③。

余白を、上 0, 下 1.5, 左 2, 右 1 にします④。

下図のようなプレビューが見えるはず⑤。

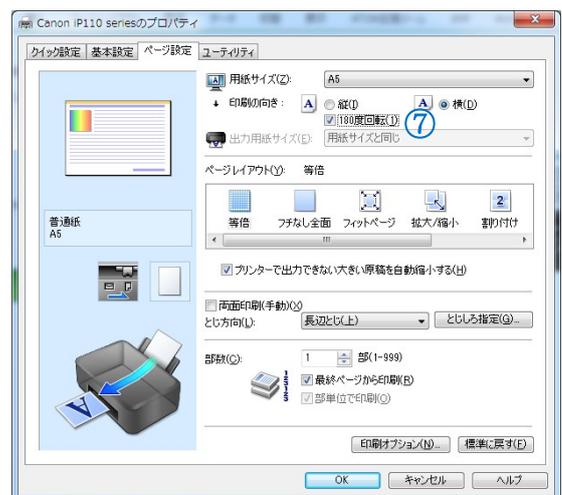


5. 「プリンターのプロパティ」を設定します⑥。「ページ設定」のタブを選びます。

6. 「印刷の向：横、180° 回転」にします⑦。

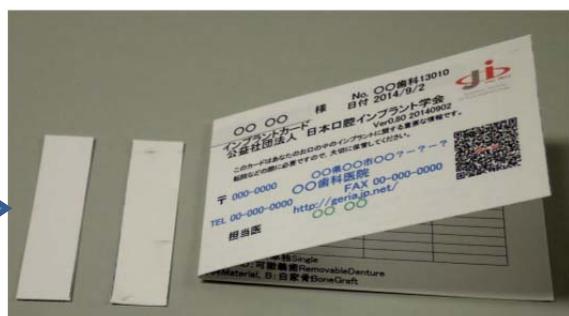
必ず毎回必要です。

7. あらかじめ切ってあったカード(縁付き)を
プリントの用紙トレイの右端にセットします。



表が印刷面です。「印刷したいカードの左下」を「左上」にして入れます。

8. 印刷を実行します。
9. シート「裏」を表示します。
10. 以下、同様に裏面を印刷します。
裏面が見えるようにして、左下を左上にして入れます。
11. 左右の縁を切り取って、完成したカードです。



12. 必要に応じて、歯式部分に手書きを行います。
【患者データ入力】の6のようにPC入力も可能

※印刷時のプリンタの設定は、機種により異なります。
ある程度の試行錯誤は必要です。

【インプラント追加の場合の対応】

一度、カードを患者さんに渡した後、インプラントを追加した際には、古いデータに追加して、新しいカードを印刷します。混乱を避けるためには、渡してある古いカードは回収した方が良いでしょう。